

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				補助対象 外経費 (A)-(B)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	実施内容	成果	効果検証	担当課
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)							
1	公共的空間安安全・安心確保事業	2,805,871	2,805,871	0	2,800,000	0	5,871	0	R3.9.30	R4.3.31	公共的施設の空間の安全・安心の確保を図るため密閉・密集・密接を回避し、住民及び来島者等の感染症対策に必要な物品の購入等に係る経費を支援する。 【支援施設数】20施設 ・マスク購入数:36,000枚を配布。 ・消毒液購入数:150個を配布。 配布率:100%	各公共施設、福祉施設、フェリー等のみならず三密を避け、村民へ感染拡大防止の意識付けと島外への渡航自粛(もともと本村には感染発生原がない)など、十分な感染防止対策と体制の強化につながった。	企画財政課
2	事業者経営支援助成金事業	4,600,000	4,600,000	0	1,950,000	0	2,650,000	0	R4.2.14	R4.3.31	村内にて新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、村独自の判断にて渡航自粛及び外出自粛の要請により経済的影響を大きく受けている当村の事業者(飲食業・宿泊業・製造業・観光関連サービス業・小売業等)に対し、支援を行う。 支援事業者数:30件	村独自の判断により、渡航自粛・外出自粛の要請を実施し新型コロナの感染拡大抑制に繋がった。協力いただいた事業者の支援数30件を実施し、事業継続が可能な支援の取組となった。	企画財政課
3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策協力支援金事業	4,738,470	4,738,470	0	4,524,000	0	214,470	0	R3.11.29	R4.2.28	本村への来島自粛および修学旅行・団体旅行の受入自粛要請により、経済情勢の影響を大きく受けると予測される当村の民泊事業者に対し支援を行う。 支援件数:44件	新型コロナウイルス感染拡大による修学旅行や団体の旅行の受入自粛により、民泊事業者の収入減となったことから、経済対策支援として44件の民泊事業者へ支援金を支給し、事業継続の取組みを図った。	観光交通課
4	地域経済活性化促進「元気応援地域振興券」事業	12,846,900	12,846,900	0	12,846,000	0	900	0	R3.10.12	R4.3.8	コロナウイルス感染拡大に伴い、村内の不要不急の外出及び渡航自粛要請により停滞する地域経済の活性化を促進するため、村民を対象に村独自の地域振興券を発行し、消費拡大による村内経済の消費喚起を図る。 ①振興券発行総額:12,200千円 ②利用可能店舗:26店舗/38店舗中 ③利用可能店舗割合:68% ④消費喚起効果額:11,753千円 ⑤消費喚起率:96%	緊急事態宣言の発令や伊平屋村への渡航自粛等により地域経済の低下が懸念されるなか、地域振興券の発行により11,753千円の消費喚起がなされ、地域経済の活性化が図られた。	観光交通課
5	感染拡大防止に向けた飲食店巡回活動	178,027	178,027	0	178,000	0	27	0	R3.10.25	R3.10.25	新型インフルエンザ対策等特別措置法第24条第9項に基づいた営業時間短縮の要請に伴い、村内における全ての飲食店を訪問し、時短要請への協力と、感染拡大の持続的な防止に向けた巡回活動を行う。 飲食店巡回店舗数:13店舗	R3.4.12からまん延防止等重点措置が発令され、担当課職員にて飲食店の巡回を実施した。その後、5.23の緊急事態宣言発令後も巡回を実施し、時短要請への協力と感染拡大の防止に向けた巡回活動を実施した。	観光交通課
6	新型コロナウイルス感染予防対策機器導入事業	8,759,740	8,759,740	0	8,759,000	0	740	0	R3.11.8	R4.2.16	住民の移動や物流を担う重要な公共交通機関となるフェリーやバスは緊急事態宣言中も運航を継続してきたが、今後も住民又は観光客の移動手段であるフェリーやバスを維持していくために、新型コロナウイルス感染予防対策として換気設備の設置を行い住民等の生活の交通機関を支える。 以下の施設にオゾン発生器を設置した。 ①フェリーいへやⅢ:42カ所 ②コミュニティバス:2カ所 ③伊平屋村ポーターミナル内:50カ所	本村唯一の公共交通機関であるフェリー及びコミュニティバス、多くの人々が往来するポーターミナルへ除菌効果が認められているオゾン発生器(ウイルスバスター)を設置し、利用者が安心して利用できるよう感染対策を実施した。	観光交通課
7	ICT機器整備事業	2,240,700	2,240,700	0	2,240,000	0	700	0	R3.6.30	R3.9.14	災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により児童生徒の学びを保障できる環境の整備を行う。 環境整備 生徒用PC用保護ケース 140本 生徒用PC用ペン 140本	生徒一人一人の学びと感染防止を対策を両立するためICTを活用した環境整備を実施した。感染症の発生等においても臨時休業や緊急時においても対応可能な環境整備に繋がった。	教育委員会
8	幼小中感染予防対策事業	9,747,398	9,747,398	0	8,457,000	0	1,290,398	0	R3.7.15	R4.3.31	新型コロナウイルス感染症流行に伴い、村内小中学校施設等感染予防対策を行う。 感染対策用物品整備支援実績:3校 伊平屋小学校、伊平屋中学校、野甫小中学校	感染症対策に必要な物品や備品の整備を実施し、児童生徒が安心して就学できる学びの環境を整備した。感染症の発症や感染拡大を未然に防止することができまん延の防止の抑制に繋がった。	教育委員会

9	新型コロナウイルス感染症検査助成金	127,000	127,000	0	127,000	0	0	0	R4.2.8	R4.2.8	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、未だのまん延予防として濃厚接触者等を対象に、本村が主体となりPCR検査を実施する。	検査キット使用率:100%	村独自の判断により、濃厚接触者およびその家族を対象にPCR検査を実施し、感染拡大の未然防止を行なうことでまん延防止の抑制に繋がった。	企画財政課
10	新型コロナウイルス感染症予防対策事業者支援事業	2,622,300	2,622,300	0	2,622,000	0	300	0	R4.1.20	R4.3.22	新型コロナウイルス感染症予防対策を実施する村内で小売業、飲食業及び宿泊業を営む事業者の事業継続を支援するため、感染症対策に要する費用の一部を補助する。	支援実績:23事業者	感染対策を実施する事業者へ上限15万円の支援を実施し、利用者が安心して利用できるよう支援するとともに、「新しい生活様式」に対応した環境整備を実施した。	観光交通課
11	新型コロナウイルス感染対策用物品詰所整備事業	803,000	803,000	0	700,000	0	103,000	0	R4.2.7	R4.9.22	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策用物品(マスク・アルコール等)を適正に管理するための詰所を整備する。本村では現在、一時的な消防団車両用車庫を利用し物品の管理を行っているが、緊急車両の対応および運営体制に影響が生じていることから適正に管理する。	施設使用率:100%	新型コロナ感染防止対策用の物品を安全に保管し、緊急の対応時など物品の残量をチェックすることにより、必要な管理が図られた。	企画財政課
12	黒糖ブランディング実証支援事業	1,926,000	1,926,000	0	1,926,000	0	0	0	R4.4.1	R4.7.28	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により黒糖の販売が低迷する中、新規販路開拓のため食品製造業者等と連携した総合ブランディング等を支援することにより、製造事業者の経営負担の軽減、加工用原料として生産される黒糖の滞留改善及び本村のさとうきび生産者の生産体制維持を図る。	バイオガス原料実証(カーボンニュートラルの実証)として伊平屋産黒糖362.34t使用	沖縄黒糖を他の食品残渣や家畜排せつ物等のメタンガス発生用の原料と混ぜて発酵させ、メタンガスの発生に対する効果等を検証した。検証結果として、バイオガス発生量及び発電量において明確な有効性などが確認され、さとうきびがカーボンニュートラル作物であることから、バイオガス発電の社会的役割と合致した有意義な原料であることが確認された。	農林水産課
13	伊平屋村新型コロナウイルス感染症自宅療養者等支援事業	384,000	384,000	0	64,000	0	320,000	0	R4.1.19	R4.3.31	第6波による新型コロナ感染拡大の深刻な影響がでていることから、伊平屋村に在住する感染症の患者のうちやむを得ず伊平屋村内で自宅療養されている方を対象に、村民の日常生活を維持するための支援を行う。	支援件数:6件	やむを得ず自宅療養を余儀なくされた方へ日常生活の維持・経済的負担を軽減することを目的に、支援数6件の実績となった。	企画財政課
合計		51,779,406	51,779,406	0	47,193,000	0	4,586,406	0						